行 事 報 告 書（例会）

報告者：木村俊三

行 事 名	親睦忘年会
実施日時	平成２７年１２月１３日（日曜日）１５時００分～　１６時３５分　天候：晴れ
場 所	ぷらざこむ１階　レストラン　パーチェ
主 旨	平成２７年の活動や出来事、時事問題、思い出などを各々囲んだテーブルで、またはテーブルを越えて歓談し、会員相互の親睦を深めて貰うことを目的とする。
参加人員	ＭＮＣ　５６名（男性３９名、女性１７名）
経過・状況	今年最終の地域貢献行事「ぷらざこむ親子ふれあい工作会」午前の部と午後の部の２回に分けてあり、１４時３０分までに最終の片付けまで終了した。 例会行事として開催する今回の「親睦忘年会」は、施設側の取り決めの為、従業員を含め全員退去を１７時までにする必要が有り、当初１７時００分閉会の予定であったものを、１６時３０分とする計画変更を数日前にした。 時間がタイトな為恒例的な隠し芸、余興などは省略せざるを得なかった。 １４：３０　参加者会費受付開始。座席テーブル№札、甘党券の交付。 １５：００　テーブル席札札をもとに会員着席。（５名が遅刻未受付、３０分後には全員が揃う）女性には各テーブルに偏らずに加わって頂いた。 終了時間が１６：３０に変更のお詫びと、甘党券の取り扱い説明をした。 まず多田会長から開会の挨拶を頂く。　続いて坂本顧問から乾杯の音頭を頂く。 早めにコンロが着火されていたので、寄せ鍋の出来は頃合いになり、順調に飲食が開始された。 そして１６時ごろには甘党の方にはケーキ、アイスクリームが配られ、皆さんの活力あふれた談笑の声が会場の室内に響き渡り、我々の拡声器を使ったアナウンスの声も届かない位だった。和気あいあいの内に、いよいよお開きの時間が近づいた。 １６：３０　終了予定の時間となり、平山副会長には来年の申年にはいやな事は去る、とのお話しで、宴の手締めをして頂いた。
まとめ 感　想	アルコール類を嗜まれない方に、宴会へ参加して頂く事は大切な事で、ケーキ、アイスクリームなどでの対応は必要と考える。今回は甘党券発行でレストランでの煩雑やトラブルを防げた。アルコールでは焼酎は余りビールの本数が不足気味であったので、次回には検討要。足らなかった酒器も一部の会員の方に持参協力頂き問題は無かった。８日の受付締切以降当日まで参加者数の変更が無いのは近年稀な事。年末の締めくくりと会員の親睦のため忘年会開催は意義が有ると感じた。